

資料 1

令和 7 年度

第 1 回宇治市小中一貫教育推進協議会

令和 7 年 6 月 23 日（月）18 時 00 分～
宇治市役所 6 階 602 会議室

目 次

1	令和 6 年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動概要	...	1
2	令和 6 年度の小中一貫教育の取組到達状況	...	2
3	令和 7 年度の小中一貫教育の到達目標	...	3
4	効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン 概要版	...	5
5	令和 7 年度小中一貫教育推進協議会の活動について（案）	...	6

令和6年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動概要

1 協議会の活動

小中一貫教育に関する取組全般の進行管理を行い、取組内容の点検確認とともに改善について意見の交換等を行う。

2 令和6年度の活動報告

(1) 協議会の開催

第1回協議会 令和6年 7月23日(火)

第2回協議会 令和6年12月20日(金)

第3回協議会 令和7年 3月10日(月)

(2) プロジェクト会議の開催

第1回プロジェクト会議 令和6年10月11日(金)

第2回プロジェクト会議 令和6年11月15日(金)

(3) 中学校ブロックの特色ある取組の視察

取組を視察し、その後現地にて交流・協議

日 付	中学校ブロック 【視察校】	取組内容	視察委員
8月21日(水)	西小倉中ブロック 【西小倉中学校】	ブロック合同研修会 小中一貫校開校にむけたワーキンググループの立ち上げ	青木 委員
10月31日(木)	黄檗中ブロック 【黄檗中学校】	小学校低学年担任による中学校授業参観	西尾 委員
11月29日(金)	西小倉中ブロック 【西小倉小学校】 【西小倉中学校】	小中一貫校開校にむけたワーキンググループによる、方針、教育計画、教育内容の検討協議	榊原 会長 部 副会長 渡邊 委員
1月31日(金)	広野中ブロック 【大開小学校】	中学生の小学生への読み聞かせ 広野中学校1年生による大久保小・大開小の1年生への紙芝居の読み聞かせの取組	西川 委員 前畑 委員 林口 委員
2月7日(金)	木幡中ブロック 【木幡中学校】	「教えて先輩！中学校ってどんなトコ？」中学生になることや木幡中学校に関しての質問に対して、小学校児童と中学校生徒がリアルオンラインで交流	久世谷委員

3 宇治市小中一貫教育に係る視察状況

(1) 三重県議会(県議会委員9名)

「宇治市の小中一貫教育及び「宇治学」の取組について」

日 時 令和6年9月9日(月)

場 所 学校教育課

(2) 広島県尾道市立久保中学校(教務主任、生徒指導担当等)

「宇治市の小中一貫教育及び小中一貫校についての視察」

日 時 令和6年12月19日(木)

視察校 宇治黄檗学園

令和 6 年度の小中一貫教育の取組到達状況

(1) 9 年間を見通した子どもの育ちと学びのつながり

小中の教職員が一堂に集まり、授業参観を含む、合同研修会や研究部会を各ブロックで開催した。令和 6 年度は、児童生徒の状況や変容を把握し、その要因を考えたり取組の効果を検証したりすることを大切に、各ブロックで、合同研修会等において、京都府学力・学習状況調査(学びのパスポート)等による結果分析の交流や学習課題の共有、身に付けさせたい力の明確化等が行われ、児童生徒の学力課題の改善に向けた教育活動が展開された。

(2) つながりのある子ども理解と生徒指導

様々な体験活動・児童生徒交流活動が各ブロックで実施された。特に、「小学校 6 年生の中学校体験入学」は、全てのブロックで中学校に集まって行われ、「授業体験」や「部活動体験・見学」など、各ブロックで工夫して実施された。

また、子ども理解については、各ブロックの運営組織体制に、生徒指導や児童生徒理解、特別支援教育や教育相談などの部を設け、合同研修会・研修会等の際に部会を開催するほか、定期的に連絡を取り合い、児童生徒の実態や状況について交流・共有して、日々の指導や支援が進められた。

(3) 指導や支援に磨きがかかる教職員の連携と協働

運営組織体制の見直し等を行いながら、ブロック内の校長会やコーディネーター会で充実した協議が行われ、円滑な推進が図られた。

また、各ブロックでは、学力課題や生徒指導、特別支援教育への教職員の対応・指導力の向上を目指し、テーマを決めて合同研修会・研修会等が行われた。

(4) 家庭・学校・地域でつくる育ちの輪

「小中合同の地域懇談会」「地域行事への児童生徒の参加」「地域防災の拠点としての学校」「地域と生徒のふれあい懇談会」「地域ボランティアの学習支援」「地域ボランティア・PTA・生徒・教職員合同で企画したイベントの実施」など、地域の実態に応じた家庭・学校・地域の取組が各中学校ブロックにおいて広く行われた。また、各ブロックで小中一貫だよりを発行し、取組の内容等を発信した。しかし、取組への理解が進んでいない状況が見られることから、情報の発信の考え方や方法の検討を進める必要があると考えている。

子どもと子ども、子どもと教職員、教職員と教職員、地域と学校をつなぎ、
学びと育ちの絆が深まる宇治市の小中一貫教育

つながりとふれ合いの中で愛情や信頼を感じ、
たくましく、仲間と高め合う宇治市の子ども

令和7年度は、これまで、各中学校ブロックで進めてきた小中一貫教育の意義や取組の流れを丁寧に確認し、小・中の教職員の共通理解のもと、(1)～(4)の考え方にに基づき、具体的な取組を進めることとする。

(1) 9年間を見通した子どもの育ちと学びのつながり

重点

子どもにとって、より良い育ちの場をつくる

より良い学びとなるよう、子ども自身に見通しをもたせた教育活動を行う

具体的な取組

「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」に基づく、学力調査の結果分析、児童生徒の学力課題の把握・共有

市・府学力調査結果から、児童生徒の学力の伸びを分析・確認

児童生徒の学力課題改善に向けた授業改善

小中学校間での交流や授業などでのICTの活用、タブレット端末の効果的な活用

小学校・中学校での授業参観・公開授業を含む合同授業研究

「小小連携」を通じた教員間での教育内容の共有

小学6年生の「中学校の学習・生活体験」「部活動体験・見学」を実施

(2) つながりのある子ども理解と生徒指導

児童生徒を小中の教職員が相互に理解し、共通の姿勢で指導する

切れ目のない支援で子どもの育ちを支える

具体的な取組

児童生徒理解や支援に関わる部会の定期的な開催

小・中学校間の丁寧な引継ぎと一貫した指導・支援・対応

「総会」「合同研修会」でのブロックの児童生徒の実態交流や「各校の授業参観」の実施

就学前施設を含む地域の関係機関との連携

- (3) 指導や支援に磨きがかかる教職員の連携と協働
組織的に取り組む
ブロックの教職員の実践力を向上させる

具体的な取組

「ブロック校長会」「コーディネーター会議」等を定期的開催
ブロック校長会の方針の下、ラーニングコーディネーターを要として、義務教育9年間の教育目標や課題を明確にした「ジョイントプラン」を策定
「小中合同研究」「授業参観（研究授業）」の開催
学力の定着と充実・向上を柱とした小中一貫教育の推進に向け、課題解決に向けた具体的な研究・研修
各中学校ブロックの実態に応じた専科教員等の活用
市全体での「ラーニングコーディネーター会議」の定期的な開催

- (4) 家庭・学校・地域でつくる育ちの輪
地域、保護者とともに子どもの育ちを支える
地域が軸となり、小中学校、児童生徒をつなぐ

具体的な取組

児童生徒の実態に応じた「家庭学習の手引き」等の作成・活用
「小中一貫だより」の発行や「ホームページ」の活用による、小中一貫教育の様々な実践が、「見える取り組み」となるよう積極的な情報発信
保護者、地域からの意見や考えを積極的に収集し双方向型の取組を進めるための「アンケート」等の実施・活用
学校運営協議会や、地域団体への積極的なブロックの取組への参加・参観等の案内

効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン

宇治市教育委員会・宇治市校長会

本市では、学力の充実・向上を重点課題に位置付け、小中一貫教育を基盤に、児童生徒の学力の充実・向上に向けた様々な施策を推進している。

各学校においても、教育委員会の方針に基づき、学力の充実・向上を中核においた学校経営を進めている。

しかしながら、全国学力・学習状況調査（以下、「全国学調」と略記）等から推測される本市児童生徒の学力状況は、徐々に改善の兆しは見られるものの、総じて見ると市民や保護者の期待に添える水準に達していないのが実状である。

このような実状に鑑み、本市の学校教育に責務を有する教育委員会と、各学校の経営責任者である全ての校長で組織される校長会とが協働して、学力の充実・向上に向けた新たな取組を進める。

取組の推進に当たっては、教育委員会の施策や各学校の実践を振り返る中で取組目標の焦点化を図ること。焦点化した目標に向けた取組が、学力課題の多寡に関わらず、全ての小・中学校において進められること。各学校の取組を、教育委員会が組織を挙げて全面的に支援していくことが肝要であると考えます。

この取組は、方針や目標レベルに留まることなく、各教室における日々の教育活動の中で具現化されることが「鍵」となる。

本市の実態に基づき、長年に亘る教育実践を基盤として、施策対効果を意識した『効果のある宇治市方式の取組を進めるアクションプラン』を策定し、本市の次代を担う児童生徒の生涯にわたる学習の基盤となる学力の充実・向上を図っていく。

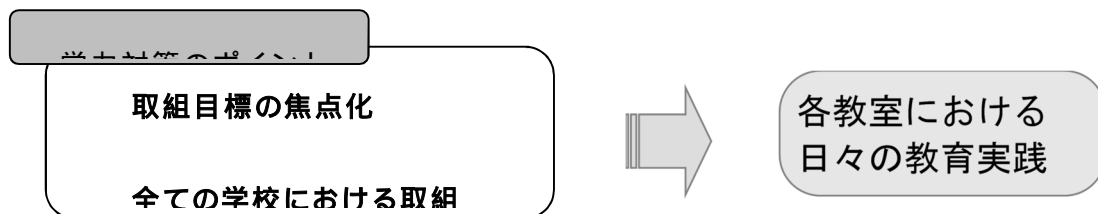
（「令和元年度効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」抜粋）

令和4年度より、国語の学力の中でも、特に課題と考える「読み取る力」「書き表す力」の向上・改善に向けた取組を進めた。

令和5年度より、令和元年度からのファースト・ステージを終え、セカンド・ステージとして、特に府教委方式に準じた「4層区分」のC層に着目した取組を推進する。

「全国学調」の「国語」における「学力の状況（正答数分布に基づき算出されるC層の割合を全国との状況と比較）」「質問紙調査の状況（「国語の力」に関する質問項目に対する回答状況を全国・京都府状況と比較）」を評価指標とし、については全国水準を下回ること、については全国水準を上回ることを宇治市全体の目標として取組を進めていくこととしている。目標達成のためには、「全国学調」の結果を受け、学力状況の分析と課題の明確化・共有化を図り、具体的な取組を実践することが重要となる。

令和7年度は、「目標設定シート」の活用による検証と実践や市学力調査分析による低学年からの授業改善等施策等を充実させ、令和8年度からの学力対策施策検討を行う。



アクションプランは、Plan（計画） Do（実行） Check（評価） Action（改善）のサイクルで進行管理していく。

年度内取組等についても、PDCA サイクルを適切に活用し、適宜改善を図ることが学校における取組のポイントとなる。

令和 7 年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動について（案）

1 協議会の活動について

小中一貫教育に関する取組全般の進行管理を行うとともに、宇治西小倉学園の開校を見据えた、今後の展望の作成を行う。

2 令和 7 年度の活動計画について

(1) 年 3 回の協議会開催（開催予定月）

交流・協議による進行管理

第 1 回協議会（6 月）〔年度当初進行管理〕

〔宇治市の小中一貫教育今後の展望（案）について〕

第 2 回協議会（10 月）〔宇治市の小中一貫教育今後の展望（案）について（2 回目）〕

第 3 回協議会（3 月）〔年度末進行管理〕

令和 7 年度は、12 年間の小中一貫教育の検証を踏まえた今後の展望についての報告を行うので、年 3 回の協議会開催とする。

本協議会は必要に応じて会長が招集する。（本協議会設置要項第 6 条）

(2) 中学校ブロックの特色ある取組の視察

学校現場の取組視察による進行管理

中学校ブロックの取組を視察し、その後現地にて交流・協議を行う。

- ・視察受け入れ可能な取組を委員が選択し参加する。（2 学期の予定）
- ・学校と小中一貫教育推進協議会委員の交流・協議の場をもつ。
（管理職や小中一貫教育コーディネーター等に対応を依頼する。）

事前に、中学校ブロックの特色ある取組（合同研修会・合同発表会等、小・中学校や地域が合同で行う取組）ならびに各小・中学校が実施する授業参観やオープンスクールなどの情報提供を行い、協議会委員参観の依頼を行う。

(3) プロジェクトチームの設置

必要事項の調査・研究

協議会の場でさらに深く調査、研究等を必要とする事項が生じた場合は、プロジェクトチームを設置する。